

## 「でんきが築く豊かな未来」

宮城県登米総合産業高等学校 1年 情報技術科 平 果奈子

私が考える「でんきが築く豊かな未来」は、情報機器を活用した最先端な教育です。

ここ数年でパソコンやタブレットが普及し、教科書と向かい合う時間よりタブレットなどの情報機器と向かい合う時間が増えています。その理由は、安価で手に入り、いつでもどこでも手軽に使えるようになったことが大きいと思います。

そこで、私はその時間をもっと有効活用して学習時間として使えるのではないかと考えました。どのように有効活用するのかというと、教科書を紙から情報機器に移すことです。今の私たちは学ぶことが多く、段々と教科書が厚くなってきました。部活動で使う用具も多く、すべての教科書を家に持ち帰り自主学习をすることは大変です。しかし、軽量で持ち運びが簡単なタブレットを使うことによって楽に自宅へ持ち帰れ、バスや電車の中でも自分が余裕のある時間に好きな教科の勉強ができます。

もし、それがもっと有効に使えるようになるのなら、先生たちにも利点があると思います。宿題の採点や平均点を自動で出すことができ、間違いの多い問題も瞬時に摘出し効率よく教え直すことができるようになると思います。保護者への印刷物配布も情報機器に送ることができ、忘れ物や連絡ミス防止にもなると思います。最先端な教育ができることは、多忙といわれる先生たちの負担も減らすことができると思います。

また、将来のために、学校の授業でも情報機器をもっと活用してほしいです。今は社会に出るとパソコンやタブレットを使う仕事が多いと思います。工業系の高校ではパソコンを使った授業が多くありますが、普通高校ではパソコンに触れる機会が少ないと思います。タブレットやパソコンを活用した授業をもっと増やせば、社会に出ても即使いこなせ、未来の職業技術者の育成にもなると思います。

このように、情報機器を活用した最先端な教育は私たちの未来をさらに豊かにすることができます。